

IOWN APN/DCI 技術を活用した 異国間メタバーズ体験

オールフォトニクスネットワークとデータセントリックインフラストラクチャを活用した通信により、国境を越えたユーザがメタバーズ仮想空間上のホログラフィック映像で交流します

#顧客体験価値向上 #ウェルビーイング・人的資本経営



///技術課題

大容量コンテンツをスムーズに利用するためには、コンピューティングリソースとサービス利用拠点を近くしてデータ伝送時間を短縮する必要があります。

///研究目標

APNの大容量・低遅延通信の活用で、VRシステムを構成するレンダリングサーバ等の計算リソースを3,000km離れた国際間でも機能集約して分散配置することが可能です。

---要素技術

- IOWN技術：APN/DCI (RDMA over IP)
- CHT社独自技術：メタバーズ空間の共有技術および翻訳技術（映像音声の双方向表示）

---市中技術差異点

市中技術においてRDMA接続はDC内などの近距離でのInfinibandでの接続が多く存在し、イーサネットではRoCE(RDMA over Converged Ethernet)で接続する方式があるが、後者においても低遅延性とロスレスであることが必要であるため長距離接続は非推奨。本展示ではIOWN-APNの担保する伝送品質により、CHT社のVRアプリケーションがRDMA over IPで国際間の双方向コミュニケーションが実現可能

---適用ビジネス

ビジネス領域：エンターテインメント
ユースケース例：異国間メタバーズ
提供時期：サービス提供予定時期：2025年中